



# いとう英治 通信

令和2年  
2月

第2号

## 新人議員として、日々勉強を重ねた 8ヶ月間の活動を報告いたします。

広島県議会議員の任期が始まると同時に令和となり、新人議員として日々研鑽に努めてまいりました。

日々、行政や議会の仕組みや課題等を勉強していく中で、アツという間に8ヶ月が過ぎました。

令和2年を迎えるにあたり、昨年8ヶ月間の活動報告を紙面によりさせていただきますので、ご一読いただければ幸いです。

今後も、皆様のお役に立てるよう粉骨砕身努力してまいります。



広島県発展のため是々非々で職務を全うします。知事には、諸課題解決に向け一層頑張ってもらいたく、力強く握手しました。

## 2019年の活動のごくごく一部ですが、 以下の通りご紹介させていただきます。

### 写真で見る活動報告① 災害の早期復旧・復興をめざす



#### ◀災害の復旧状況確認

浚渫・樹木伐採撤去の早期実現に向けて動いています。要望のあった箇所や気になる場所には、時間を見つけて行くようにしています。浚渫や伐採が進んでおり安心しました。他にも、いろんな場所に行っていますが、一人でうろうろしていても不審者ではございません。



#### ◀現地確認

硬い岩の上に土が乗っている状態で、その土に根を張った樹木が見えます。大量の水を含むと滑り落ちる事が容易に推察できます。これからの道路の改修工事において、これまで以上に十分な配慮が必要です。



#### ◀現地調査

相談を受けていたため池を確認するため、道なき道を進み見に行きました。豪雨被害を拡大した一因に、ため池の存在が言われています。危険ため池の処置（改修、廃止）が今後の防災につながります。関係ないと思われる地域も、実はため池の決壊による浸水想定地域に入っている場合がありますので、注意が必要です。



#### ◀現地調査

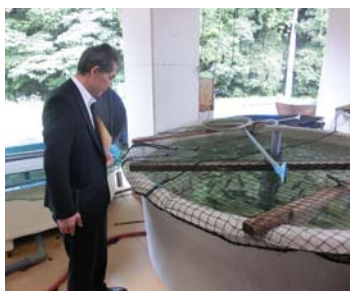
災害復旧は災害場所が多くなうえ、業者数の減少もあり遅々として進んでない現状があります。そのため、色々なご心配に対してできる限りの説明をすると同時に、現地での意見交換に努めます。



#### ◀視察

激甚災害に指定された熊本地震からの復興状況をいろいろと伺いました。西日本豪雨災害とは被災状況が多少違いますが、取り組みや今後の課題など大いに参考になる話ができました。

## 写真で見る活動報告② 農業・漁業の振興、未来への発展を探る



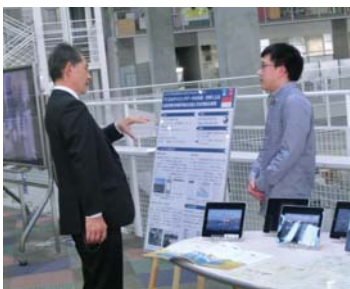
### ◀ 県立水産海洋技術センター視察

弱ったり傷ついた魚を元気にする塩分調整技術や牡蠣の周年供給（夏でも生牡蠣が食べられる）技術など、様々な技術が開発されています。



### ◀ 野菜工場視察

無菌状態で次々にレタスが生産されています。農業の担い手不足や気象変動による不安定な収穫に対して安定した供給が可能となっています。農業の一つのありかたと考えます。



### ◀ はこだて未来大学視察

公立はこだて未来大学の学生さんとスマート漁業について意見交換。AI技術の応用について中身の濃い話がありました。



### ◀ 浦臼町ジビエ処理加工センター視察

広島県でも害獣被害に悩まされており、鹿や猪を駆除、加工、販売への取り組みの参考になりました。こちらでの加工品は、かなり人気のようです。



### ◀ 現地調査

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による農業被害の現地を見に行き、意見交換しました。写真の通り、一部稲が育っていません。三原市内で投入があったため、心配しています。



### ◀ 現地調査

地元企業とJAとがタッグを組んだドローンによる農薬散布実演を見に行きました。農薬散布の労力は大変なので、省力化を考えている方には有効と思います。

## 写真で見る活動報告③ 人の絆、地域の文化を守り育てる



### ◀ 挨拶

広島県立歴史博物館開館30周年記念式典において挨拶をさせていただきました。これからは知的好奇心をくすぐる様々なイベントを通して、多くの方々に愛される博物館であるよう願っています。



### ◀ SDGs体験

理解を深めるため、SDGs(※1)のカードゲームに参加しました。人類が持続していくためには何をすべきか…なかなかわかりにくいですが、このゲームでお互いが足りないものを分かち合い、助け合うことが大事であることを再認識しました。



### ▲ 住民の皆様の要望活動に同行

議員の立場から独自に要望することも必要ですが、地域の方の生の声が直接届くことも大事であり、そのサポーター役を仰せつかったと考えています。



### ◀ 地域のお祭り

呼ばれる呼ばれないに関わらず、できるだけ見に行くようにしています。そこには、地域の歴史があったり、人の繋がりがあったりします。地域の事を考える上で非常に大事です。

### 小早川隆景公命日法要 ▶

三原の礎を築いた隆景公の法要に参列。知れば知るほどすごい人であった事がわかります。その手腕は、今の世の中に特に必要なものかもしれません。



※1 SDGs: 人類存続のための持続可能な社会を目指す取り組みとして、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標。17の目標と169のターゲット（具体目標）で構成されている。

# 一般質問質疑応答(要旨)

議員になって初めて、  
定例会本会議にて質問をさせていただきました。



## 1. 県土強靱化に向けた取り組みについて

(1) ダム管理のあり方について

**問** ダムの管理と流域住民への情報伝達の問題が被害の拡大を招いたと考えている。役割分担を明確にし、仕組みを変える検討がどのようになされているのか？

**知事** 今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会による災害発生分析やダム操作の検証により今後の対策のあり方を取りまとめた。

(2) 災害に強い道路の整備について

**問** 災害により再認識されたのは、多重性・代替性を備えた道路ネットワークであり、災害に強い道造りを今後どのように取り組んでいくのか？

**土木建築局長** 災害に強い道路ネットワークの構築については、道路整備計画2016において施策の一つに掲げており、国の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」を積極的に活用し、多重型道路ネットワークの形成や緊急輸送道路の機能強化に取り組んでいる。

## 2. 人づくりについて

(1) 結婚支援事業の充実について

**問** これまでの県での取り組み成果やノウハウなどを婚活事業に取り組む

市町と共有、連携することで、県内全体で成果がでるのではないかと？

**健康福祉局長** これまでの「こいのわプロジェクト」の展開を加速させ、民間企業などとも連携しながら若者の結婚の希望を叶えていく。

(2) ひとを大事にする心の育成について

**問** 日本人が神代から「和」の精神を貫き、感謝や畏敬の念を学ぶ事ができる日本最古の歴史書「古事記」を今まで以上に学校教育に取り入れるべきではないか？

**教育長** 社会科では、「古事記」などに書かれている建国の歴史などの記述を通して、古代の人々のものの考え方や生活を捉えさせる事についても学習している。引き続き、思いやりの心や感謝の気持ちなど、児童生徒の豊かな心の育成に向けて取り組む。

## 3. 第一次産業の振興について

(1) 第一次産業におけるイノベーションの推進について

**問** 儲かる産業として、補助金等がなくても成り立つ産業の確立に向けて、生産・消費・流通分野におけるイノベーションを強く推進していくべきではないのか？

**知事** 県立大学と連携した「アグリ・フード・マネジメント講座」において、他産業との連携などによりイノベーションを起こせる人材の育成を図り、産業として自立できる力強い農林水産業への転換を目指す。

(2) ジャンボタニシによる農業被害について

**問** 環境省と農林水産省が「生態系被害防止外来種リスト」において対策の必要性が高い「重点対策外来種」に選定しているジャンボタニシの情報提供や防除対策が不十分であり、対応が消極的ではないか？

**農林水産局長** ジャンボタニシの生息エリアが拡大し、大きく影響を及ぼす恐れが生じた場合は、植物防疫法に基づき、

県として他の病害虫と同様に適切な対応を講じていく。

## 4. Society5.0(※2)の実現に向けた革新的な技術の導入の推進について

(1) ドローンの推進による地域の活性化等について

**問** ドローンが各分野で注目を集めているが、県内経済の発展、社会的課題の解決に向けてはドローンが有する可能性を最大限に活用し利用を推進していくべきではないか？

**知事** 国家戦略特区による規制緩和の活用や、ひろしまサンドボックス(※3)、全庁横断的なデジタルトランスフォーメーション(※4)の推進などを通じてドローン関連サービスを提供する人材や企業の集積を促進する必要性があると考え、取り組みを加速化させていく。

(2) 行政経営における革新的技術の導入について

**問** 多様化する社会的課題解決、県民サービスの維持・向上を図るためにはAI(※5)やRPA(※6)等の革新的技術を行政経営に積極的に導入していくべきではないか？

**知事** 「最小の経費で最大の効果を上げる」事が行政経営の基本原則。デジタルトランスフォーメーション推進本部の下、行政経営においても引き続き革新的技術の積極的な活用を図り、県民の皆様へのより質の高い行政サービスの提供につなげていく。



## 所属委員会

常任委員会 農林水産委員会

特別委員会 創造的復興・県土強靱化推進特別委員会  
予算特別委員会

※2 Society5.0 : AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する、人が中心の新たな未来社会。

※3 ひろしまサンドボックス : 作ってはならず、創作を繰り返す「砂場」のように何度も試行錯誤できる場。

※4 デジタルトランスフォーメーション : デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの。

※5 AI (人工知能) : 人間の知的ふるまいをコンピュータ (ソフトウェア) が行う技術。

※6 RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) : オフィス業務を自動化・効率化する仕組み。

## 注目している取り組み①

# お母さんと生まれてくる赤ちゃんのために

## ひろしま版ネウボラ

妊娠・出産から子育て期まで、母子保健と子育て支援が一体となった切れ目のないサポート体制を身近な地域に構築中です。



現在、6市町で取り組みが始まっています。相談件数の増加など成果が出てきており、モデル地域での経験を元に、より進んだネウボラを他市町へ広がるよう力を入れて行きます。(ネウボラとは…フィンランドにおいて、妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で地方自治体が設置、運営する拠点。ネウボは助言、ラは場所を意味するフィンランド語)

# 伊藤英治の情報発信

Facebook【ほぼ毎日更新】  
[www.facebook.com/itoeiji55](http://www.facebook.com/itoeiji55)

ブログ【不定期更新】  
[ameblo.jp/itoeiji](http://ameblo.jp/itoeiji)

ホームページ【不定期更新】  
[www.itoeiji.com](http://www.itoeiji.com)

いとう英治通信他【不定期発行】  
年2~3回発行

メールマガジン【不定期発行】

登録は [itoito@mail3.piko-piko.net](mailto:itoito@mail3.piko-piko.net) に空メール

YouTube (ユーチューブ)【不定期更新】  
[youtube.com/user/itoeiji55](http://youtube.com/user/itoeiji55)



伊藤英治 検索  
ホームページから Facebook、ブログ、YouTube に移動できます



## 注目している取り組み② 街を守る

### 意外に実感のない「ため池の危険性」

豪雨被害を拡大させた原因として、ため池の決壊などが指摘され、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」(ため池法) が令和元年 7 月に施行されました。

所有・管理者からの届け出を通して実態把握を踏まえ、補強工事や廃止工事の実施計画の再整理を進めます。補強工事には一部負担が生じますが、廃止工事の場合は(規模、堰堤の高さ等により異なりますが)負担の必要がなくなる場合があります。

持ち主のわからない場合などもありますが、大雨や地震、猪による堰堤の掘り返しなどによる決壊の危険性を考え、安心・安全な生活の為、取り組みを進めて行かねばなりません。ご協力をお願いいたします。

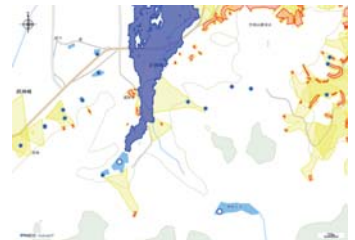
	対象数	届け出あり(暫定値)
農業用ため池	19,772箇所	約10,000箇所(51%)
うち防災重点ため池	8,167箇所	約4,400箇所(54%)

※防災重点ため池：決壊した場合、人的被害が懸念されるため池

決壊した時の浸水想定区域を、広島県のため池マップ(Web)で確認できます。



三原市



世羅町

市街地や思わぬ地域が入っている事もありますので、ぜひ一度ご確認ください。必要以上に恐れる必要はありませんが、豪雨時の避難判断に利用できます。

住みやすい広島県を目指して、日々精進して参ります。皆様の声をどうぞお聞かせください。



# 皆様の声を受け止め、伝えます!

「皆様の声を、皆様の想いを、県政に伝えてまいります」と選挙戦で訴えかけて参りました。この約束を果たすべく、皆様の元に参加しますので、ご連絡をいただければ幸いです。

県政報告会・ミニ集会・ご意見聴取・意見交換会等グループ・集会・企業あるいは地域団体など、どこへでも参りますので、ご連絡の上日程調整をさせていただきます。



皆様のご意見・ご要望をお寄せください

☎ 0828-60-9022 ✉ [info@itoeiji.com](mailto:info@itoeiji.com)

いとう英治ホームページでは、ご意見・ご要望を送信画面よりお送りいただけます。また、より詳しい情報、日々の活動も随時ご覧いただけます。ぜひご活用ください。

メール ホームページ

